

資料3

インターネットによる 医療情報の提供法について (患者・家族対象)

- 資料3-1 アンケート内容と単純集計結果
- 資料3-2 自由コメント
- 資料3-3 年代別によるクロス集計結果
- 資料3-4 性別によるクロス集計結果
- 資料3-5 疾患別によるクロス集計結果

～ 抜 粋 ～

資料3-1 アンケート内容と単純集計結果

回答者人数 1,162名

《回答者のプロフィール》

●回答者の平均年齢 38.0歳

1 男性の平均年齢	41.3歳	6 糖尿病の平均年齢	40.4歳
2 女性の平均年齢	35.7歳	7 アトピー性皮膚炎の平均年齢	34.6歳
3 患者の平均年齢	39.0歳	8 喘息の平均年齢	36.6歳
4 家族の平均年齢	36.9歳	9 胃がん・乳がん・大腸がんの平均年齢	38.1歳
5 高血圧の平均年齢	43.7歳		

●回答者の年代別構成

・19才以下	26名	2.2%	・50代	98名	8.4%
・20代	219名	18.8%	・60代	46名	4.0%
・30代	462名	39.8%	・70才以上	9名	0.8%
・40代	302名	26.0%			

●回答者の性別

1 男	466名	40.1%	2 女	696名	59.9%
-----	------	-------	-----	------	-------

●患者本人・家族の区別

1 患者本人	582名	50.1%	2 患者の家族	580名	49.9%
--------	------	-------	---------	------	-------

●疾患の種類

1 高血圧	220名	18.9%	4 喘息	244名	21.0%
2 糖尿病	167名	14.4%	5 胃がん、乳がん、大腸がん	111名	9.6%
3 アトピー性皮膚炎	417名	35.9%	6 その他	3名	0.3%

●受診経験の有無

1 現在の病気で医療機関を受診したことがある	1090名	93.8%
2 現在の病気で医療機関を受診したことはない	72名	6.2%

●治療の有無

1 現在、通院または入院治療を受けている	693名	59.6%
2 現在、通院または入院治療を受けていない	469名	40.4%

●質問と回答

問1 インターネットを利用して医療情報(病気や医療機関に関するさまざまな情報)をどのくらいの頻度で利用されていますか?

・ほとんど毎日	3.8%	・1年に1~数回	34.3%
・1週間に1度以上	14.9%	・利用していない	12.1%
・1か月に1~3回	34.9%		

問2 利用されている情報はどのようなものですか？(いくつでも選んでください)

・医療機関に関する情報（住所、診療科目提供されるサービス、業務内容等の、外からの確認が容易な情報）	33.1%	・医師に関する情報	7.0%
・医療機関に関する情報（得意にしている疾患、整備している医療機器等の、専門性に係る情報）	22.8%	・一般の病気に関する情報	59.4%
・医療機関に関する情報（提供される医療や病院の機能に関する第三者の評価情報）	17.5%	・感染症、難病等に関する情報	11.5%
・その他（1.8%）		・病気の治療法に関する情報	59.7%
○通院中の病院の患者会の情報ホームページ		・薬に関する情報	53.1%
○民間療法、漢方		・病気予防、健康管理に関する情報	33.6%
○同じ立場の人のホームページで生の言葉を読む		・QOL（生活の質）に関する情報	6.3%
		・同じ患者の体験情報	24.6%
		○食事との関係について	
		○治療に関する情報	

問3 前の質問に関連して、現在、国内で提供されている情報は十分だと思いますか？

問3-1 医療機関に関する情報（住所、診療科目、提供されるサービス、業務内容等の、外からの確認が容易な情報）

・十分である	16.9%	・どちらとも言えない	44.0%
・不足である	39.1%		

問3-2 医療機関に関する情報（得意にしている疾患、整備している医療機器等の、専門性に係る情報）

・十分である	11.8%	・どちらとも言えない	40.3%
・不足である	48.0%		

問3-3 医療機関に関する情報（提供される医療や病院の機能に関する第三者の評価情報）

・十分である	9.0%	・どちらとも言えない	38.9%
・不足である	52.1%		

問3-4 医師に関する情報

・十分である	4.7%	・どちらとも言えない	28.9%
・不足である	66.4%		

問3-5 一般の病気に関する情報

・十分である	30.8%	・どちらとも言えない	36.8%
・不足である	32.4%		

問3-6 感染症、難病等に関する情報

・十分である	11.9%	・どちらとも言えない	51.2%
・不足である	36.8%		

問3-7 病気の治療に関する情報

・十分である	19.0%	・どちらとも言えない	35.2%
・不足である	45.8%		

問3-8 診断・治療法の科学的根拠となる情報

・十分である	25.7%	・どちらとも言えない	31.4%
・不足である	42.9%		

問3-9 薬に関する情報

・十分である	33.8%	・どちらとも言えない	40.3%
・不足である	26.0%		

問3-10 病気予防、健康管理に関する情報

・十分である	14.4%	・どちらとも言えない	58.9%
・不足である	26.7%		

問3-11 QOL(生活の質)に関する情報

・十分である	14.4%	・どちらとも言えない	58.9%
・不足である	26.7%		

問3-12 患者の体験情報

・十分である	21.7%	・どちらとも言えない	47.0%
・不足である	31.2%		

問4 「信頼性の確保」の観点から、次の各々の医療情報は、どのような主体者が提供していくのが最も望ましいと考えられますか？(各々の項目に対し、一つだけ選んでください)

問4-1 医療機関に関する情報(住所、診療科目、提供されるサービス、業務内容等の、外からの確認が容易な情報)

・国または国に準ずる機関	16.9%	・医学会	2.0%
・都道府県の自治体	11.4%	・薬剤師会	0.7%
・市町村の自治体	14.1%	・健康保険組合等保険者	0.5%
・保健所	5.9%	・製薬メーカー	1.4%
・大学病院、公的な研究機関	5.2%	・NPO等の第三者機関	9.8%
・医療機関自身	12.2%	・民間の医療情報提供会社	4.3%
・医師会	4.4%	・患者(個人または団体)	2.9%
・病院団体	1.5%	・よくわからない	6.5%

・その他(0.3%)

- 病院が個々の患者にアンケート用紙を出してそれを載せて欲しい。
- 何処にも影響されないきれいな官民一体の機関(弁護士等を含む)
- ひとつの団体だけだと信用しにくい

問4-2 医療機関に関する情報(得意にしている疾患、整備している医療機器等の、専門性に係る情報)

・国または国に準ずる機関	13.3%	・薬剤師会	0.3%
・都道府県の自治体	7.7%	・健康保険組合等保険者	0.7%
・市町村の自治体	8.6%	・製薬メーカー	0.8%
・保健所	3.6%	・NPO等の第三者機関	10.1%
・大学病院、公的な研究機関	8.8%	・民間の医療情報提供会社	5.3%
・医療機関自身	18.2%	・患者(個人または団体)	1.9%
・医師会	7.7%	・よくわからない	6.5%
・病院団体	3.2%	・その他	0.3%
・医学会	3.0%		

問4-3 医療機関に関する情報(提供される医療や病院の機能に関する第三者の評価情報)

・国または国に準ずる機関	12.0%	・薬剤師会	0.2%
・都道府県の自治体	6.4%	・健康保険組合等保険者	2.2%
・市町村の自治体	7.4%	・製薬メーカー	0.8%
・保健所	2.8%	・NPO等の第三者機関	20.9%
・大学病院、公的な研究機関	3.5%	・民間の医療情報提供会社	14.4%
・医療機関自身	4.0%	・患者(個人または団体)	11.4%
・医師会	3.3%	・よくわからない	7.4%
・病院団体	1.7%	・その他	0.3%
・医学会	1.5%		

問4-4 医師に関する情報

・国または国に準ずる機関	9.6%	・薬剤師会	0.2%
・都道府県の自治体	5.3%	・健康保険組合等保険者	0.8%
・市町村の自治体	7.1%	・製薬メーカー	0.1%
・保健所	2.2%	・NPO等の第三者機関	14.4%
・大学病院、公的な研究機関	2.3%	・民間の医療情報提供会社	8.3%
・医療機関自身	5.9%	・患者(個人または団体)	11.6%
・医師会	18.0%	・よくわからない	8.6%
・病院団体	2.0%	・その他	0.5%
・医学会	3.1%		

問4-5 一般の病気に関する情報

・国または国に準ずる機関	17.7%	・医学会	8.1%
・都道府県の自治体	3.3%	・薬剤師会	0.2%
・市町村の自治体	6.1%	・健康保険組合等保険者	1.4%
・保健所	9.4%	・製薬メーカー	2.1%
・大学病院、公的な研究機関	13.2%	・NPO等の第三者機関	3.4%
・医療機関自身	9.8%	・民間の医療情報提供会社	7.2%
・医師会	8.1%	・患者(個人または団体)	1.2%
・病院団体	3.9%	・よくわからない	4.8%

・その他 (0.2%)

○専門医学博士数人以上

問4-6 感染症、難病等に関する情報

・国または国に準ずる機関	31.4%	・薬剤師会	0.2%
・都道府県の自治体	2.9%	・健康保険組合等保険者	0.6%
・市町村の自治体	3.2%	・製薬メーカー	0.3%
・保健所	11.2%	・NPO等の第三者機関	3.6%
・大学病院、公的な研究機関	15.1%	・民間の医療情報提供会社	3.2%
・医療機関自身	6.7%	・患者(個人または団体)	1.1%
・医師会	4.6%	・よくわからない	6.3%
・病院団体	2.0%	・その他	0.2%
・医学会	7.4%		

問4-7 病気の治療法に関する情報

・国または国に準ずる機関	10.5%	・医学会	9.8%
・都道府県の自治体	2.2%	・薬剤師会	0.7%
・市町村の自治体	3.2%	・健康保険組合等保険者	0.8%
・保健所	4.8%	・製薬メーカー	1.0%
・大学病院、公的な研究機関	20.8%	・NPO等の第三者機関	4.2%
・医療機関自身	15.9%	・民間の医療情報提供会社	4.8%
・医師会	9.8%	・患者(個人または団体)	1.4%
・病院団体	3.9%	・よくわからない	6.0%

・その他 (0.2%)

○西洋医学にとらわれず、色々な医師からの情報

問4-8 薬に関する情報

・国または国に準ずる機関	14.2%	・薬剤師会	39.7%
・都道府県の自治体	1.7%	・健康保険組合等保険者	0.4%
・市町村の自治体	1.7%	・製薬メーカー	13.6%
・保健所	1.2%	・NPO等の第三者機関	6.0%
・大学病院、公的な研究機関	4.6%	・民間の医療情報提供会社	3.8%
・医療機関自身	4.1%	・患者(個人または団体)	0.8%
・医師会	2.0%	・よくわからない	4.2%
・病院団体	0.5%	・その他	0.1%
・医学会	1.3%		

問4-9 病気予防、健康管理に関する情報

・国または国に準ずる機関	15.4%	・医学会	3.1%
・都道府県の自治体	4.0%	・薬剤師会	0.3%
・市町村の自治体	6.5%	・健康保険組合等保険者	4.6%
・保健所	27.7%	・製薬メーカー	1.5%
・大学病院、公的な研究機関	6.5%	・NPO等の第三者機関	3.3%
・医療機関自身	6.5%	・民間の医療情報提供会社	6.2%
・医師会	5.0%	・患者(個人または団体)	1.1%
・病院団体	2.2%	・よくわからない	5.8%
・その他(0.2%)			
○医学博士の団体			

問4-10 QOL(生活の質)に関する情報

・国または国に準ずる機関	15.6%	・薬剤師会	0.0%
・都道府県の自治体	5.7%	・健康保険組合等保険者	3.6%
・市町村の自治体	9.6%	・製薬メーカー	0.4%
・保健所	16.0%	・NPO等の第三者機関	6.3%
・大学病院、公的な研究機関	3.5%	・民間の医療情報提供会社	8.7%
・医療機関自身	3.3%	・患者(個人または団体)	3.4%
・医師会	2.2%	・よくわからない	19.5%
・病院団体	1.0%	・その他	0.1%
・医学会	1.0%		

問4-11 患者の体験情報

・国または国に準ずる機関	4.7%	・薬剤師会	0.3%
・都道府県の自治体	2.2%	・健康保険組合等保険者	1.5%
・市町村の自治体	4.5%	・製薬メーカー	0.6%
・保健所	3.4%	・NPO等の第三者機関	11.8%
・大学病院、公的な研究機関	2.3%	・民間の医療情報提供会社	11.4%
・医療機関自身	2.7%	・患者(個人または団体)	44.3%
・医師会	1.2%	・よくわからない	7.3%
・病院団体	1.1%	・その他	0.2%
・医学会	0.4%		

問5 インターネット上で提供される医療情報の「信頼性の確保」に関し、どのような方法が最も有効だと思いますか？(一つだけ選んでください)

- | | | | |
|--|-------|-----------------------------------|------|
| ・サイトの運営主体者が自己チェック
できるようなガイドラインを作成し、
運用する | 19.4% | ・広告規制等、公的な規制の枠組みを
適用する | 4.1% |
| ・問題があるものを第三者機関が積極
的にチェックしていく仕組みをつくる | 44.7% | ・インターネットは自由なので自主規
制も公的規制も不要である | 3.0% |
| ・問題があった場合に、第三者機関が
意見や苦情を受ける仕組みをつくる | 22.9% | ・よくわからない | 5.9% |
| ・その他 (0.1%) | | | |
- 医療情報者の公表。運営者の自己管理。第三者の
チェック。苦情受付。すべてそろってほしい

問6 自主的なガイドラインについてうかがいます。まず、ガイドラインはどこがつくるべき
ですか？(いくつでも選んでください)

- | | | | |
|---------------|-------|--------------|-------|
| ・国または国に準ずる機関 | 53.4% | ・医学会 | 13.3% |
| ・都道府県の自治体 | 23.1% | ・薬剤師会 | 10.1% |
| ・市町村の自治体 | 20.3% | ・健康保険組合等保険者 | 5.6% |
| ・保健所 | 14.5% | ・製薬メーカー | 8.4% |
| ・大学病院、公的な研究機関 | 15.2% | ・NPO等の第三者機関 | 21.1% |
| ・医療機関自身 | 17.1% | ・民間の医療情報提供会社 | 13.9% |
| ・医師会 | 17.2% | ・患者(個人または団体) | 8.0% |
| ・病院団体 | 9.3% | ・よくわからない | 7.6% |
| ・その他 (0.4%) | | | |
- 色々な立場から考えて作るべきだと思う
○各種団体選出の委員会
○何処にも影響されないされない官民一体の機関
(弁護士等を含む)
- どこか1つではなく色々な団体からの代表者
○サイト運営者

問7 ガイドラインの内容は、どのようなものが望ましいと思われますか？(一つだけ選んでください)

- | | | | |
|--|-------|----------|-------|
| ・サイトの運用法について、できる限り
細かく具体的に説明したものがいい | 57.9% | ・よくわからない | 11.6% |
| ・サイトの運用法について、細かな規定
はつくらず、基本的な理念だけ示した
ものがいい | 30.3% | ・その他 | 0.2% |

問8 各機関・団体等により策定された複数のガイドラインが運用されることについてどう思われますか？
(一つだけ選んでください)

- | | | | |
|---------------------------------------|-------|--|-------|
| ・すべての団体が遵守すべきガイド
ライン1本に絞ったほうがいい | 33.6% | ・関係者が協議してそれぞれのガイド
ラインの共通の基礎となる基本原則
や理念をつくとよい | 37.4% |
| ・背景や考え方の違いがあるので、そ
れぞれ独自のものをつくれればよい | 21.3% | ・よくわからない | 7.6% |

問9 自主的な取組の効果の及ばないところ(いわゆるアウトサイダー)に対して、どのような方策が考
えられますか？(一つだけ選んでください)

- | | | | |
|---------------------------------------|-------|--------------------------|------|
| ・問題に早めに対応できるよう、行政
や第三者機関が日常的に監視を行う | 50.5% | ・規制はできないので放任しておくし
かない | 2.7% |
| ・問題があった場合に、意見や苦情の
受付・相談を行う機関を設ける | 37.9% | ・規制は不要なので放任しておく | 1.5% |
| | | ・よくわからない | 7.2% |

・その他 (0.3%)

- 問題があった場合に、そのサイトを公表して欲しい。 ○それが問題ならば規制はあるが、非営利で情報を提供しているところであれば余り規制をしなくても必要は無い
- 通報制度。モニターによる監視。

問10 利用者が利用する際、ガイドラインを遵守しているサイトを確認するために、最も効果的な方法は何ですか？
(一つだけ選んでください)

- ・ポータル(総合的な案内)サイトをつくって選別されたところにリンクを設ける 28.7%
- ・ガイドラインを遵守していることを客観的に示すマークを掲示して、利用者からわかるようにする(第三者機関の評価認定あり) 52.6%
- ・自己宣言でガイドラインの遵守に努めていることをマークやことばで示す(第三者機関の評価認定なし) 5.2%
- ・ガイドラインを遵守しているサイトだけが閲覧できるようなフィルターリングのソフトを提供する 4.4%
- ・よくわからない 9.0%

・その他 (0.2%)

- 読めばマトモな人か否かは概ね判ります、私は。 ○ガイドラインは参考にすべきもので守るものではない。

次の質問は、説明をよく読んで、下に案内されているサイトを実際にインターネットで閲覧いただいてからお答え下さい。

これまでの質問内容に関連して、自主的なガイドラインの作成、運用に取り組んでいるNPOの一例を紹介します。この団体(日本インターネット医療協議会)の「eヘルス倫理コード」と呼ばれるガイドラインは、2003年4月から正式に運用される予定のものです。医療情報の提供だけでなく将来的に普及が予想されるオンラインでの医療サービスに関するガイドラインも盛り込まれています。

この「eヘルス倫理コード」の前段階として、「医療情報発信者ガイドライン」というものが、すでに運用されていますが、このガイドラインを遵守し、所定の審査を受けたサイトには、「トラストマーク」(赤字に白の十字、JIMAの英文字をデザインしたマーク)と呼ばれる認証マークが掲示されています。

その一部を下にあげました。

- 1.<http://www.aso-group.co.jp/aih/index.html>
- 2.<http://www.kawakita.or.jp/>
- 3.<http://www.snh.or.jp/>
- 4.<http://www.sankikai.or.jp/tsurumaki/>
- 5.<http://www.akira-clinic.or.jp/>

参考ページ:

「eヘルス倫理コード」

http://www.jima.or.jp/ehealth_code/

「医療情報発信者ガイドライン」

<http://www.jima.or.jp/trustguide/jimaprinciple.html>

問11 上記のサイトや案内をごらんいただき、こうした取組に対する感想や意見を何でもお書きください。(400字以内)

資料3-2に全文掲載

「インターネット上の医療情報の提供と利用の実態に関する調査研究」報告
～ 資料1を抜粋 ～



調査研究報告

「インターネット上の医療情報の提供と利用の実態に関する調査研究」報告

この研究は平成 11 年度厚生科学研究（医療技術評価総合研究事業）の「新技術媒体を利用した医療等に関する情報の提供と利用の現状分析についての研究」の分担研究として実施したものです。

主任研究者

大櫛陽一・東海大学医学部

分担研究者代表

辰巳治之・札幌医科大学医学部教授

研究協力者

青谷裕文・滋賀医科大学
伊藤朋子・南埼玉病院
伊藤雅彦・国際医療福祉大学臨床医学センター
岩田忠俊・岩田皮フ科
内山映子・慶應義塾大学政策メディア研究科
大平整爾・日鋼記念病院
大山博司・田島病院
小内亨・桐生厚生総合病院
鎌田弘之・岩手医科大学附属循環器医療センター
上出良一・東京慈恵会医科大学
近藤靖児・札幌医科大学医学部
西藤成雄・西藤こどもクリニック
島田久夫・島田内科
隅田さちえ・厚生堂長崎病院
高井昌彦・高井内科クリニック
高橋基文・シティクリニック
宝樹真理・たからぎ医院
中島直・東京大学医学部附属病院
中野博美・京都きづ川病院
中野昌彦・京都四条病院
西田秀造・中谷皮フ科
橋本良明・伊勢崎市民病院
花井荘太郎・国立循環器病センター
平井清・柏木診療所
水島洋・国立がんセンター研究所
三谷博明・日本インターネット医療協議会
山中昇・和歌山県立医科大学
吉原博幸・宮崎医科大学

資料 1

医療情報の利用に関するアンケート調査結果

アンケートを依頼した医療機関 29 施設から回収された回答数は、全部で 1842 名だった。その内訳は、大学病院で 353 名、一般病院で 773 名、診療所(クリニック)716 名であった。その集計結果を資料 1-2 に示す。回答者の平均年齢は 38.4 歳、年代別に見ると 10 代が 1.6%、20 代が 26.5%、30 代が 26.9%、40 代が 15.6%、50 代が 12.6%、60 代が 8.0%、70 代以上その他が 2.8%、不明が 5.9%であった。性別では男性が 40.6%、女性が 55.6%、不明が 3.7%であった。回答者の立場は、患者が 62.4%、患者の家族が 22.4%、その他が 9.3%、不明が 5.9%であった。居住エリア別に見ると、北海道・東北が 22.9%、関東・信越が 31.4%、北陸・東海・近畿が 30.8%、中国・四国が 9.3%、九州・沖縄は 0%、不明が 5.5%であった。依頼した医療機関は、大学病院 4、一般病院 13、診療所 12、合計 29 であった。

・アンケート実施医療機関施設数		29
	(内訳)	
	大学病院	4
	一般病院	13
	診療所	12
・アンケート実施期間	平成 12 年 1 月 19 日～2 月 20 日	
・アンケート回収人数		1,842
・回答者の立場	患者	1,149 (62.4%)
	患者の家族	412 (22.4%)
	その他	172 (9.3%)
	不明	109 (5.9%)
・回答者の平均年齢		38.4 歳
・回答者の性別		
	1. 男	748 名 (40.6%)
	2. 女	1,025 名 (55.6%)
	3. 不明	69 名 (3.7%)
・居住エリア	北海道・東北	422 (22.9%)
	関東・信越	578 (31.4%)
	北陸・東海・近畿	568 (30.8%)
	中国・四国	172 (9.3%)
	九州・沖縄	0 (0%)

問 1. 医療機関(病院や診療所)についての情報を知りたいと思うことはありませんか。(複数回答。回答者全員に対する割合)

(名称、所在地、交通等に関する情報)

1. 医療機関の名称	61.0%
2. 所在地	61.0%
3. 電話番号	53.6%
4. FAX 番号	10.5%
5. 電子メールアドレス	11.6%
6. インターネットのホームページアドレス	22.4%

7. 交通手段	48.6%
8. 地図	44.6%

(診療科目、人員、施設等に関する情報)

9. 診療科名	64.1%
10. 診療(休診)日	64.5%
11. 診療時間	69.3%
12. 診療時間予約の実施の有無	48.3%
13. 診療科の医師(氏名、専門領域、経歴等)に関する情報	42.1%
14. 従業員数等、勤務スタッフに関する情報	11.8%
15. 入院設備の有無	37.7%
16. 病床数・病室数	18.8%
17. 病室・機能訓練室・談話室・食堂・浴室等に関する事項	23.9%
18. 医療機関の同一敷地内に併設されている施設の名称	11.5%
19. 療養型病床群の有無	11.2%
20. 施設基準関係(緩和ケア病棟、開放型病院等)に関する事項	10.9%
21. 差額ベッドの数とその料金	25.0%
22. 駐車場の有無	48.6%

(医療の内容、提供体制に関する情報)

23. 診察・診断・治療に関する情報	65.3%
24. 検査や検診の案内	45.5%
25. 予防接種の案内	29.4%
26. CT、心電図等の医療機器の有無	35.0%
27. 代表的な病気についての平均治療日数(通院期間)	32.0%
28. 代表的な病気についての平均在院日数(入院期間)	26.0%
29. 代表的な病気についての平均的な治療費の総額	44.7%
30. 代表的な病気についての治療・手術等の実施数、成功率	42.2%
31. 診療の質を確保するための工夫	21.8%
32. 先端医療や薬の治験の実施の有無	25.4%
33. 医療機関の地域における役割	10.4%
34. 他施設との連携体制	22.0%
35. 紹介をすることができる他の病院又は診療所の名称	33.2%
36. 救急医療の体制	41.6%
37. 往診、在宅医療の実施の有無	26.0%

(患者ケアに関する情報)

38. 患者、家族への病気の説明	74.9%
39. 患者、家族への健康教育	30.9%
40. 患者の安全への配慮	38.5%
41. 看護ケアの提供状況	25.2%
42. 訪問看護の実施の有無	19.9%
43. 医療事故への対応	26.4%
44. 障害がある方への対応	19.3%
45. 日本語が分からない方への対応	12.5%
46. カルテの閲覧・コピーサービスの有無	27.3%
47. 患者のプライバシー保護や利便性への配慮	31.4%
48. 患者クレームへの対応	27.1%
49. 患者の権利尊重への取組み	24.6%

(経営、管理等に関する情報)

50. 医療機関全体としての倫理、理念	26.9%
51. 第三者機関による病院評価の結果	30.8%
52. 診療を支える各部門の機能	22.3%
53. 診療にかかわる安全管理	38.1%
54. 医療機関全体の管理体制	21.9%
55. 職員への教育・研修の状況	20.2%
56. 看護提供における理念と組織的基盤の整備状況	13.6%
57. 職員の能力開発や看護ケアのための環境整備	19.1%
58. サービス改善への取組み	27.3%
59. 職員を適切に確保・配置できる人事管理	16.1%
60. 医療機関の財務状況	8.6%
61. その他	0.6%

かかっているところがあるので特に必要ない

看護婦さんの数（特に夜勤）

決まっているので特にない

子供の長期入院（3ヶ月）の体験から、医者の人間としての資質を問いたい

アンケート項目すべてに関する実態

託児

地域医療への状況説明

患者を大事に扱ってくれる為言葉態度に医者をしてきくばりをしてほしい→患者はモルモットではないし感情のある人間なのです

問2. 公開してほしい医師に関する情報があれば、その内容を選び、番号に○をつけてください。（複数回答。回答者全員に対する割合）

1. 氏名	53.7%
2. 勤務先医療施設名	48.4%
3. 住所	12.2%
4. 電話番号	12.9%
5. 診療科目	53.7%
6. 特に専門とする分野	71.4%
7. 学会認定医	17.0%
8. 提携医療施設名	26.5%
9. 出身大学	20.0%
10. 学位	10.0%
11. 卒後年数	15.4%
12. 理解できる外国語	6.0%
13. その他	1.3%

診療経歴、年齢、経験、実績

医師の評価

人柄、性格

・過去に勤務した病院名・人間性

医療（治療）に対する理念

勤務先の住所は知りたい、自宅は不要

診療方針

専門医としての格付け

得意とする技術

論文等

問3. 以上のような情報はどこからの資料として公開されるとよいと思いますか。（複数回答。回答者全員に対する割合）

1. 市町村の刊行する資料	42.5%
2. 都道府県の刊行する資料	25.9%
3. 国（厚生省）の刊行する資料	21.1%

4. 病院・診療所が発行する資料	38.9%
5. 医師会が発行する資料	22.9%
6. その他の営利団体・民間企業等が発行する資料	5.4%
7. 非営利の第三者機関が発行する資料	22.8%
8. 患者〔支援〕団体・個人（非医療関係者）が発行する資料	10.1%
9. その他	0.8%
○インターネットのホームページ	
○病院、診療所	
○信用できる調査会社	
○書店での書籍として	
○電話帳	
○どこでもよい	
○インターネット、従ってホームページの開設	
○営利に関係なく医師の人格、技能、倫理に対して確実な判断をなされたものであって欲しい。	
○交流会	
○特になし	

問4. その資料はどこで入手・閲覧できればよいと思いますか。（複数回答。回答者全員に対する割合）

1. 県庁・市役所・町村の役場での閲覧	49.9%
2. 図書館や公民館などの身近な公共施設での閲覧	42.1%
3. 一般書店等での販売	27.3%
4. インターネット上に公開	40.3%
5. その他	2.7%
○病院・診療所など医療機関	
○電話・FAX等で情報が得られればよいと思う	
○タウンページ等	
○地域（自治体等）の公報にて	
○圏内の医師であれば市報などで配布	
○回覧板などより身近なもの	
○該当する施設自体で	
○各医療機関での待ち時間を利用してのインターネット閲覧	
○各家庭に配布（地域ごと）または郵送	
○学校	
○新聞	
○図書館	
○医師会 or 保健所	
○アンケートに記載のすべての場所	
○道で発行する刊行物でもよし	
○わからない、特になし	

問5. あなたは医療について相談したい場合、どこに相談しますか。（複数回答。回答者全員に対する割合）

1. かかっている医療機関の相談窓口（ケースワーカー）	69.7%
2. 主治医以外の医師（セカンドオピニオン）	17.2%
3. 保健所	13.0%
4. 市町村の健康管理課など	10.6%
5. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などの医療相談コーナー	6.7%
6. インターネットでの医療相談	13.2%
7. クレジット会社・生命保険会社などが行っている医療相談サービス	2.4%
8. その他	5.2%
○主治医、知合い（友人・親戚）の医師・医療関係者	
○知人、親戚、同僚、友人	
○会社の健康管理室、診療所	

- 病院、医療機関、薬局
- どこに相談したらよいかわからない
- 看護婦
- 家族
- 相談したことがない
- 医大ならば主治医、家庭医学百科
- 近所の元保健婦さん
- 保健所は全く頼りにならない（単なる公務員にすぎない）
- 医療者間の情報
- 特になし

問6. あなたは医療相談を利用したい場合、次のどの手段を用いますか。（複数回答。回答者全員に対する割合）

- | | |
|------------|-------|
| 1. 直接出向いて | 76.7% |
| 2. 電話 | 51.7% |
| 3. ファックス | 4.8% |
| 4. 手紙 | 3.2% |
| 5. インターネット | 16.5% |
| 6. その他 | 0.3% |
- 友人・知人からの紹介
 - 公開された医師の中から選出して相談が可能であれば利用したい
 - 医療書

問7. あなたはこれまでに、医療について相談したことがありますか。もしあれば、利用したものの番号に○をつけてください。（複数回答。回答者全員に対する割合）なければ、問9.へ

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. かかっている医療機関の相談窓口（ケースワーカー） | 30.2% |
| 2. 主治医以外の医師（セカンドオピニオン） | 10.5% |
| 3. 保健所 | 5.8% |
| 4. 市町村の健康管理課など | 4.8% |
| 5. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などの医療相談コーナー | 2.6% |
| 6. インターネットでの医療相談 | 4.1% |
| 7. クレジット会社・生命保険会社などが行っている医療相談サービス | 1.7% |
| 8. その他 | 4.2% |
- 主治医、知合い（友人・親戚）の医師・医療関係者
 - 知人、親戚、同僚、友人
 - 会社の健康管理室、診療所、保険組合
 - 病院、医療機関、薬局
 - 家族
 - 人間ドック
 - TEL悩み相談
 - 医師会
 - 運動指導者、栄養士
 - 刑務協済医療相談
 - 市販の本（病院リスト）を見て
 - 第三者機関の代表
 - 電話での相談センター、知人等
 - 訪問看護婦
 - 医療雑誌の記者
 - ***医大病院の精神科の入院患者にケースワーカーが必要である

問8. あなたが問7の医療相談を利用したとき、次のどの手段を用いましたか。（複数回答。医療相談を利用したことのある方[問7のいずれにも○をつけなかった人数966人から計算した]に対する割合）

1. 直接出向いて	77.5%
2. 電話	35.5%
3. ファックス	1.6%
4. 手紙	2.1%
5. インターネット	8.4%
6. その他	0.9%

○検診時

問9. 医療機関が提供する情報の中には、広告的効果を持つものがありますが、患者側から見ても有用な情報が含まれていることがあります。患者(家族)であるあなたにとって、個別の医療機関に関する情報の利用価値の高さを媒体別に番号に○をつけてお答えください。(回答は各項目1つ。各項目の回答者に対する割合)

・新聞、雑誌、書籍等の情報

1. かなり高い	22.9%	2. やや高い	47.5%	3. 高くない	29.6%
----------	-------	---------	-------	---------	-------

・電話帳

1. かなり高い	15.9%	2. やや高い	37.6%	3. 高くない	46.5%
----------	-------	---------	-------	---------	-------

・看板、屋外掲示板、乗り物広告など

1. かなり高い	7.5%	2. やや高い	37.5%	3. 高くない	55.0%
----------	------	---------	-------	---------	-------

・ダイレクトメール、折り込みチラシ、対外用のパンフレット

1. かなり高い	4.6%	2. やや高い	23.6%	3. 高くない	71.8%
----------	------	---------	-------	---------	-------

・院内の印刷物、掲示物

1. かなり高い	25.8%	2. やや高い	50.1%	3. 高くない	24.1%
----------	-------	---------	-------	---------	-------

・インターネット(電子メールやホームページ)

1. かなり高い	14.7%	2. やや高い	39.2%	3. 高くない	46.1%
----------	-------	---------	-------	---------	-------

その他

- 近所の評判(口コミ)、友人・知人からの情報・評価
- 近所の医院
- ラジオ等
- TVなどニュース番組などに先生が出たりするとすごいと思ったりする
- 患者さんがつくってるHP
- 行ってみないとわからない
- 市の発行物
- 信頼にたるか否の判断基準とならない
- 主治医の人脈
- わからない、利用したことがない

問10. 医療機関の広報的な情報公開によって、どのような利点が期待できると思いますか。(複数回答。回答者全員に対する割合)

1. 施設案内や診療案内があれば、医療機関へ行きやすくなる。	59.7%
2. 医療機関を選択するのに役立つ。	65.2%

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 3. 技術のすぐれた医師を見つけるのに役立つ。 | 37.2% |
| 4. 的確な病気の診断、治療を受けるのに役立つ。 | 45.9% |
| 5. 近くのかかりつけ医を見つけやすい。 | 40.9% |
| 6. セカンドオピニオンを探しやすい。 | 9.4% |
| 7. 気になる症状があった時、早期診断を受けに行きやすくなる。 | 42.5% |
| 8. 効率よい医療で医療費が節約できる。 | 15.7% |
| 9. 患者の大病院志向の弊害を抑えられる。 | 10.9% |
| 10. その他 | 0.2% |
- 医療不祥事の防止につながる
○遠出している時に急病等になっても、すぐ病院がさがせるようになる
○自分に合う先生を探せる
○自分の生活に合ったものを選択できる

問11. あなたはインターネット（パソコン通信も含む）を利用していますか。（回答は1つ。回答者全員に対する割合）

- | | |
|---------------|-------|
| 1. 利用したことがある。 | 35.0% |
| 2. 利用したことはない。 | 61.0% |
| 3. 無回答 | 4.0% |

問12. あなたはインターネットを今後利用したいですか。（回答は1つ。問11で「利用したことはない」と答えた人に対する割合）

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 利用したい。 | 40.7% |
| 2. 利用するつもりはない。 | 15.2% |
| 3. わからない。 | 37.2% |
| 4. 無回答 | 6.9% |

問13. あなたのインターネット利用歴はどれくらいですか。（回答は1つ。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合）

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 1年未満 | 36.4% |
| 2. 1年以上～3年未満 | 39.1% |
| 3. 3年以上～5年未満 | 16.1% |
| 4. 5年以上 | 7.1% |
| 5. 無回答 | 1.2% |

問14. あなたは現在、インターネットで医療情報をどの程度利用されていますか。（回答は各項目1つ。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合）

病気、疾患に関する専門的な医学情報を得る。

- | | |
|-------------|-------|
| 1. 1週間に1～数回 | 3.3% |
| 2. 1ヶ月に1～数回 | 11.0% |
| 3. 1年に1～数回 | 26.4% |
| 4. 利用していない | 52.1% |
| 5. 無回答 | 7.3% |

健康管理など病気の予防に関する情報を得る

- | | |
|-------------|-------|
| 1. 1週間に1～数回 | 1.1% |
| 2. 1ヶ月に1～数回 | 10.4% |
| 3. 1年に1～数回 | 18.0% |
| 4. 利用していない | 59.7% |
| 5. 無回答 | 10.9% |

薬に関する情報を得る

1. 1週間に1～数回	1.6%
2. 1ヶ月に1～数回	7.3%
3. 1年に1～数回	17.5%
4. 利用していない	64.2%
5. 無回答	9.5%

医療機関の業務に関する案内を見る

1. 1週間に1～数回	0.8%
2. 1ヶ月に1～数回	7.0%
3. 1年に1～数回	17.4%
4. 利用していない	65.4%
5. 無回答	9.5%

個々の症状などに基づく個別の医療相談・健康相談

1. 1週間に1～数回	1.1%
2. 1ヶ月に1～数回	3.9%
3. 1年に1～数回	16.0%
4. 利用していない	68.8%
5. 無回答	10.2%

患者どうしの情報交換

1. 1週間に1～数回	1.9%
2. 1ヶ月に1～数回	2.8%
3. 1年に1～数回	6.0%
4. 利用していない	77.8%
5. 無回答	11.5%

その他

- 現在は利用していない
- インターネットで医療情報を入手したことはない。→方法が分からない。
- 今まで利用した事はないが、今後情報を検索して、利用価値があれば多いに利用したい
- 医療関係では不利用
- MLTの情報収集
- 患者の出しているHPで通信
- 急な耳の痛みでインターネットで調べ坐薬を入れました
- 仕事の関係で感染症や食中毒についてのデータは見る事がある
- 自分では、まだ進んで出来ないのので、教えてもらい又は打ち出している
- 主人がインターネットの会社を設立したので
- 地図（病院、診療所の場所を確認

問15. どのような医療情報サイト(ホームページ)が役立っていますか。(複数回答。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合)

1. 市町村により運営されるもの	10.5%
2. 都道府県により運営されるもの	9.0%
3. 国(厚生省)により運営されるもの	12.9%
4. 大学病院、研究機関により運営されるもの	23.9%
5. 地域中核病院により運営されるもの	10.4%
6. 診療所、クリニックにより運営されるもの	25.7%
7. 医師会により運営されるもの	8.7%
8. 製薬会社等、医療系の民間企業により運営されるもの	14.1%
9. 非医療系の民間企業により運営されるもの	5.1%
10. 非営利の団体・機関等により運営されるもの	12.6%
11. 患者(支援)団体・個人(非医療関係者)により運営されるもの	13.3%

12. その他 4.2%

- 見ていない、利用したことがない
- 医療関係では、見ていない、利用したことがない
- どのようなサイトがあるのかわからない、アドレスがわからない
- わからない
- 保健所
- 医師個人?のHP
- 会社のホームページ
- 特になし

問16. 今後、医療・福祉面において、インターネットのどのような利用法を期待しますか。(複数回答。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合)

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 病気、健康管理に関する専門的情報をもっと得たい。 | 67.4% |
| 2. 薬の効能、副作用などに関する情報をもっと得たい。 | 60.2% |
| 3. 在宅での医師や医療従事者による日常生活や精神面でのサポート。 | 19.8% |
| 4. 通院治療に代わる遠隔での医療(保険適用、非適用いずれも)。 | 16.0% |
| 5. 医師等専門家による個別の医療相談。 | 37.4% |
| 6. 患者と医師間の意志疎通、コミュニケーションを深めたい。 | 21.7% |
| 7. 患者どうしの交流、情報交換。 | 18.8% |
| 8. その他 | 2.3% |
- 医療施設の情報照会、得意分野、設備等
 - 期待しない、利用するつもりはない
 - OBSIlohのような医療教育相談
 - 病院の自己PR
 - 医療面では利用していないのでわからない
 - あまり医療機関へ行って治療を受けたりしないので当分必用ない
 - インターネットなんかに頼らず外来で来た時にきちんと病状を説明できる医者が少ない
 - 特になし
 - わからない

問17. インターネット上を個人の病気に関する診断、検査等の医療情報が流れる際、個人の医療情報が不用意に漏洩されたり改竄(かいざん)されたりすることの可能性についてどう思われますか。(回答は1つ。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 可能性があることを知っている。 | 61.3% |
| 2. 漠然と聞いたことはあるが、よくはわからない。 | 28.1% |
| 3. まったく知らない。 | 10.6% |

問18. インターネット上で個人の医療情報が漏れた時のリスクはどう評価されますか。(回答は1つ。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合)

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1. 個人の医療情報が漏れて問題が起こると思う。 | 71.6% |
| 2. 危険はあるとしても現実的には大きな問題にはならないと思う。 | 24.2% |
| 3. 危険はないと思う。 | 4.2% |

問19. インターネット上で個人の医療情報の流通に際し、情報の漏洩・改竄・悪用を防ぐためにはどのような工夫が必要と考えられますか。(複数回答。問11で「インターネットを利用したことがある」と答えた人に対する割合)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 名前など個人を特定できる情報は送らないほうがいい。 | 49.6% |
| 2. データや情報を暗号化して送るべきである。 | 34.0% |
| 3. 個人の医療情報の扱いについて法律で規制すべきである。 | 40.8% |
| 4. その他 | 3.1% |
- 監視システム

- 情報を扱う人の意識を高める
- 本人しかアクセスできない方法を徹底する
- その HP 上に患者専用の ID、PASS で入ることのできるページを作ればよいと思う。(メンバーページのようなもの)
- 今のところは防ぐのは困難
- いわゆるハッカー等が侵入した場合に警報がでるとともに、履歴が判る等の工夫をしてほしい
- インターネットを使わない
- 日本人はもっと個人情報の大切さを学校教育から知るべき。その為にも③で少しは歯止めをかけるべき。
- 基本的に防ぐことは出来ないと思うから防ぐ為ではなく、起きたらどう対処するかを考えるべき
- 流れるのは途中ではなく、病院等の末端である。(暗号化は行われるが末端では意味をなさない。)
- 上記の事が心配なので自分自身ではインターネットでの利用はしない様になっているため、わかりません。
- 各自の責任を問う事をユーザーに自覚させる事の徹底化
- 問 18 の回答で健康食品販売等に情報がもれると困ると注釈あり
- プライバシー情報の活用は、世の中で抵抗もあり、ルール、ガイドラインを真剣に取り組む必要があると思われる。暗号化などの技術的な要素も必要だが、セキュリティという観点ではその運用が最も主要な 要素の 1 つと思われる。いずれにしろ個人的にはインターネットの共用は、方向性としてまちがっていると思います。がんばって下さい。
- 特に対策なしでいいと思います
- しない
- わからない